

令和4年度 波佐見高等学校 学校関係者評価

1. 教育活動全般について【概ね良好】

成人年齢が引き下げられ、主権者意識の高まりが求められている。山形県遊佐町の少年議会の取組に感動した。DVDや資料を提供するので、ぜひ参考にしてほしい。

→少年議会の情報は、校則改正などに応用し、生徒に「思ったら変えられる」体験をさせることを目指す。昨年、靴下の規則変更で生徒の意見を反映させた。今後はさらに自分たちの意見が反映されたという実感を持たせる点を重視する。

中高連携、消費者教育、SNS情報モラル教育の充実を。

→美工科はこれまでも陶芸を通じた交流学习を行っている。美工科の生徒が中2に対して美工科の説明をする活動等を通して、美工科の活動内容のイメージを正しく伝えることができた。今後、アート部との交流も計画している。

→消費者教育は1年生（商業科は2年生）の家庭基礎の授業で指導している。また、3年の卒業前に外部講師を招いている。

→情報モラル教育は年1回実施している。次年度は各分掌の活動を整理して年間計画を作成し、体系化する。

タブレットは、先生方に大きな負担がある。また、タブレットを使えば学力があがるというわけではないので、書く活動を充実させるなど、方法を検討してほしい。

→効果的な活用方法、活用のルールを検討する。

2. 地域と連携した学校の在り方・学校PRについて【今後の課題：取組の拡充】

地域との関わりを学校の特徴とするのであれば、GW期間平日をすべて休業とし、家族と過ごす期間・地域に還元する期間としてはどうか。有田工業はすべて休業。町民の目に触れる機会も増える。

美工科や弁論など素晴らしい成果をあげている。そのような魅力をさらに発信してほしい。HPは整備が行き届いていて、情報も中学生や保護者が知りたい内容が随時更新されていてよい。

→波高通信をオールカラーにし、配付先を増やした。次年度は小学校との連携を目指す。

→HP更新を全職員に周知し、それぞれが更新できるようにシステムを変更し、複数の視点からタイムリーな情報がアップできるようにした。また、3Dページも整備した。

波佐見高校の名前をよく聞くようになった。野球部に加え、家庭部が開発したにごみ饅頭・菓子（棚田の恵み）も評判がよい。菓子の販売が拡大されると良い。

→今後も地域行事などでの提供方法や連携先などを検討する。

3. 地域との連携等について 《外部評価者からの要望・提案》

町の支援をオープンスクールなどで広く知らせてほしい。

→オープンスクールでは町の支援の説明時間を別枠で設定し、事務長から具体的に説明した。確実に支援の認知度は高まっており、質問も増えた。生徒も行事参加などを通し、町に支えられているという気持ちを持っている。生徒の心の成長にも良い影響を与えてもらっている。